

1年 国語 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の働き・音節と文字との関係を理解できること。 ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いを知り、使い分けられること。 ・言葉遊びなどを通して語彙を増やせること。 ・平仮名や片仮名、漢字の読みを覚え、文章の中で使えること。 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記を覚え、正しく書けること。 ・主語と述語との関係を理解していること。 ・助詞を正しく使えること。 ・句読点の打ち方やかぎ(「 」)の使い方を知り、文章の中に正しく使えること。 ・簡単な文、観察記録、日記など、書く文による違いを理解し、それぞれにあった文を書けること。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読の仕方を工夫できること。 ・姿勢や口形、発声や発音に注意しながら話せること。 ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解できること。 ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体について理解できること。 ・昔話など、我が国の伝統的な言語文化への親しみ、読書の楽しさを感じることができること。 ・正しい筆記具の持ち方で姿勢よく文字を書けること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いていること。 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選び、相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えていること。 ・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫していること。 ・経験したことや観察したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしていること。 ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫していること。 ・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしていること。 ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出していること。 ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっていること。 ・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えていること。場面の様子や登場人物の行動など、内容を捉えること。場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像していること。 ・いろいろな線や文字を書きながら、筆記具の正しい持ち方を確かめていること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで友達の話に関心をもち、これまでの経験をいかして話したり答えたりしようとする。また、積極的に友達の話聞き、学習課題に沿って友達と伝え合おうとしていること。 ・正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組もうとしていること。これまでの学習や経験をいかし、積極的に平仮名や片仮名、漢字を読み、書くとともに、言葉の表記を理解して文や文章の中で使って、簡単な文を書こうとしていること。 ・学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く読み、分かったことを伝えようとしていること。 ・積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしていること。 ・書写学習の見通しをもって、姿勢を正しくしたり、筆記具の正しい持ち方をしたりしようとしていること。

1年 算数 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1けたの数どうしの繰り上がりのあるたし算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできること。 ・11～18から1けたの数をひく繰り下がりのあるひき算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできること。 ・2けたの数や簡単な3けたの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120程度までの数を数え、数字を読んだり書いたり、2けたの数の構成をたし算やひき算の式に表すことができること。 ・広さの意味、比べ方などについて理解できること。 ・何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができること ・順序を表す数や異なる種類の数量を含むたし算の場面、どのくらい大きいか、どのくらい小さいかをもとめる場面もひき算の式に表せることを理解し、問題を解決することができること。 ・身の回りにあるものの形について、およその形や特徴を捉え、中身が空のものも中身があるものと同じように見られることを理解し、色板や棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりに着目し、1けたの数どうしのたし算やひき算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現していること。 ・数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現していること。 ・習った数の表し方の仕組みを基に、120程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や習った計算を活用して、簡単な場合の2けたの数のたし算やひき算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしていること。 ・身の回りにあるものの広さに着目して、直接比べたりや決まった単位による広さの比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしていること。 ・短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現していること。 ・数量の関係に着目し、順序を表す数や異なる種類の数量を含むたし算やひき算の場面、どのくらい大きいか、どのくらい小さいかをもとめる場面を図や式に表して考え、表現していること。 ・身の回りにあるものの形に着目し、形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現していること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1けたの数どうしのたし算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしていること。 ・11～18から1けたの数をひく繰り下がりのあるひき算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしていること。 ・身の回りにあるものの広さに関心をもち、比べ方の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしていること。 ・時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしていること。 ・順序を表す数や異なる種類の数量を含むたし算やひき算の場面、どのくらい大きいか、どのくらい小さいかをもとめる場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしていること。 ・身の回りにあるものの形について、形の特徴を捉えたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしていること。

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋探しや秋まつりを通して、秋の様子を諸感覚で感じながら、季節の変化や秋の特徴に気付くこと。 ・「あき」の材料の特徴を生かした遊びをしようと、色々な遊びができることに気付いていること。 ・身近な自然に興味をもち、約束を守って友だちと遊んだり、いろいろな感覚を使って感じたりして、友だちどうしで伝え合うこと。 ・チューリップの球根の植え方を知り、世話をすること。 ・かるた、竹馬、こま回し、羽根つきなどの昔遊びを通して、昔遊びに親しみ、よさを認識していること。 ・家の人の仕事を調べ、誰がどんな仕事をしているかを見つけようとしていること。 ・諸感覚を使って、冬さがしの活動をしようとしたり、冬の自然を利用して、友達と仲良く遊ぼうとしたりしていること。 ・自分を支えてくれた人との関わりについて考え、感謝の気持ちをもとうとしていること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋探しや秋まつりを通して、見つけたことについて、カードに絵や言葉で書いて友達と交流し合うこと。 ・秋まつりを通して、秋のものを使ってどんなものができるのかを考え、試行錯誤しながら作品作りに取り組むこと。 ・身近な自然に対して約束を守って友だちと遊んだり、諸感覚を使って感じたりしてカードに表して発表すること。 ・グループで用意した、作品や遊びの特徴をお客さんに伝えて、より楽しんでもらおうとすること。 ・チューリップの球根やその生長の様子について気付いたり、それらをカードに表したりして、友達と交流すること。 ・家の人にしてもらっていることの多さに気付き、感謝の気持ちを表現すること。また、教えてもらった仕事を、家族がしている工夫などと一緒に、友達に紹介すること。 ・一年間で成長したことを自分なりにまとめ、発表すること。また、2年生になったら、頑張りたいことを表現していること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・秋まつりの作品作りを通して、困ったときは、友達と互いに教え合ったり、手伝ったりしながらも取り組もうとすること。 ・秋のものや身の回りの材料を使って、どんな遊びができるのかを考えようとしていること。 ・身近な自然について、意欲的に観察し、季節の特徴や楽しみ方を見つけようとしていること。 ・家の人の仕事を調べ、家にはたくさんの仕事があり、家の人が自分のためにたくさんの仕事をしてくれていることに、気付いていること。 ・自分も家族の一員であることに気付き、自分ができることについて考え、行おうとしていること。 ・秋との違いを見つけたり、比べたりしながら、通学路の様子や冬の暮らしの様子などにも気付いていること。 ・自分自身が成長したことや、成長を支えてくれた人々がいることに気付いていること。また、自分の成長について友達と発表し合う中で、自分のよさや可能性に気付いていること。

1年 音楽 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『ひのまる』の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付けること。 ・互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて『ぶんぶんぶん』を歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けていること。 ・『すずめがちゅん』の曲想と旋律など音楽の構造との関りや、ハンドベルなどの楽器を、音色や響きに気を付けて、演奏できること。 ・『もりのくまさん』の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気づき、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けていること。 ・『おもちゃのチャチャチャ』の曲想と、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせてリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けていること。 ・『おどる こねこ』などの鑑賞曲の雰囲気味わい、曲の変化を感じ取りながら、旋律との関わりについて気付けること。 ・互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けていること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『ひのまる』『すずめがちゅん』『もりのくまさん』『おもちゃのチャチャチャ』などの曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもっている。 ・いろいろな曲を使った音遊びを通して音楽づくりの発想をもち、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。 ・『おどる こねこ』などの鑑賞曲について知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見出し、曲全体を味わって聴いていること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら音楽表現活動や鑑賞をしようとしていること。 ・できるようになるために考えたり、何回も練習したり学習活動に取り組んでいること。 ・友達と協力して学習活動をしようとしていること。 ・いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・いろいろな拍子の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・高音の響きやリコーダーなどの楽器による表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・すすんで音楽に関わり、共に学びながら音楽活動をする楽しさを感じる。 ・様々な音楽に親しむとともに、授業での経験を生かして生活を明るく豊かなものにしようとする。

1年 図工 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなものを思い浮かべながら描くときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いていること。 ・表したいことに合わせて材料（画用紙、粘土、木材、ビニール素材、段ボールなど）や用具（絵の具、クレヨン・クレパス、ペン、カッター、のこぎり、げんごう、木工用接着剤など）を適切に扱うことができること。 ・材料や用具についての経験を生かし、手や体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくることができること。 ・絵や立体に表す活動を通して、形や色、組み合わせの印象をとらえることができること。 ・造形遊びの活動を通して、材料に関わりながら、材料を組み合わせたり切ったりつないだり、形をかえたりするなどして、工夫してつくることができること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことなどの自分のイメージを基に、表したいことを見付けること。 ・絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながらどのように表すか考えること。 ・造形あそびの活動を通して、場所や場所にある材料を基に表したいことを思い付くとともに、色々と試みる中で次々と形や色などを変化させるなど、発想が連続していくこと。 ・自分たちの作品や、身近な美術作品などの面白さやいろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりだす喜びを味わいながら、すすんで形や色で表す活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わいながら、楽しく粘土を使って思い付いた形を表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・表現したり鑑賞したりすることが一体になりながら楽しく活動しようとしていること。 ・すすんで作品を作ったり、見たりすることに喜びを感じていること。 ・形や色を視点に、比べたり、選んだり、作りだしたりして、夢や願いをもって粘り強く取り組もうとしていること。 ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組むこと。

1年 体育 評価の内容

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『体づくり運動』では、姿勢や方向を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動けること。 ・『固定施設や器械・器具を使った運動』では、ぶら下がったり、登ったり、振ったり、跳び上がったり、跳び下りたりして、自分の体をいろいろ動かせること。 ・『かけっこやリレー遊び』では、いろいろな走り出しの姿勢から、素早く走り始めたり、真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ったりできること。 ・『ボール遊び』では、ボールを遠くに投げたり、強く転がしたりできること。ねらったところにボールを投げられること。的にボールを当てられないように、ボールを受けたり、はじいたりして防御できること。ねらったところにボールを投げたり、蹴ったりできること。 ・『表現・リズム遊び』では、いろいろな動物の特徴を簡単なポーズと動きで表現し、動物にふさわしいお話をつくって、友達と一緒に動けること。 ・『鬼遊び』では、追いかけたり、すばやく方向を変えたりして、相手にタッチできること。 ・『なわとび遊び』では、長なわや短なわを操作して、なわの動きに合わせてとべること。 ・『マット遊び』では、マットの上で転がって元の姿勢に戻ったり、回って起き上がったりできること。 ・『鉄棒遊び』では、鉄棒を使って、振ったり、回ったり、支持してとび上がったり、とびおりたりできること。
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『体づくり運動』では、体をほぐしたり多様な動きを作ったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えていること。 ・『固定施設や器械・器具を使った運動』では、いろいろな運動遊びの行い方を知り、楽しく遊ぶことができる場や遊び方をえらんでいること。 ・『かけっこやリレー遊び』では、ジグザグかけっこのコースの走り方を知り、折り返しリレーの往復のコースの走り方、折り返し方、引き継ぎ方を知っていること。 ・『ボール遊び』では、ねらったところに当たるように、ボールの投げ方や蹴り方を工夫し、考えたことを友達に伝えていること。 ・『表現・リズム遊び』では、動物の特徴を簡単なポーズと動きで表現し工夫するとともに、考えたことを友達に伝えていること。 ・『鬼遊び』では、いろいろな鬼遊びのしかたを知り、楽しくできるように遊び方を工夫していること。 ・『なわとび遊び』では、なわとび遊びの遊び方を知り、みんなが楽しめるなわとび遊びを選んでいくこと（長なわとび）。また、なわとび遊びの遊び方を工夫していること。 ・『マット遊び』では、自分の力に合った回り方や、場に合った回り方を選び、いろいろなマット遊びの遊び方を工夫していること。 ・『鉄棒遊び』では、いろいろな鉄棒遊びの遊び方を知り、自分の力に合った遊びや、遊びに合った場（鉄棒の高さ）を選んでいくこと。また、いろいろな鉄棒遊びの遊び方を工夫していること。
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びにすすんで取り組もうとすること。 ・きまりを守って、誰とでも仲よく運動遊びをしようとする事。 ・場の安全や約束を確かめ、守ろうとすること。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとする事。 ・用具を準備したり場の安全を確かめたりすること。 ・勝敗を受け入れていること。

